

平成 28 年度 第 6 回堺市堺区区民評議会 会議録

開催日時	平成29年 1 月30日（月） 午後 6 時00分から午後 7 時50分
開催場所	堺市役所 本館 3 階 堺区役所会議室
出席委員	岩田会長、桂委員、川上委員、佐野委員、信田委員、谷本委員、 間宮委員、矢本委員、湯川委員
事務局職員	堺区役所 射手矢区長、泉森副区長、小尾堺保健福祉総合センター所長 (企画総務課) 大黒課長、大仲係長、藪主査
傍聴者	6 名
議 題	1 開会 2 議事 （1）町家の安全・活用のあり方について （2）(仮称) 大道筋まちづくり広場の開催報告について （3）その他 3 閉会
資 料	会議次第 資料 1 町家バンク等の他市事例について 資料 2 空家等の活用に向けた相談窓口、マッチング組織について 資料 3 活用に係る規制について 資料 4 答申に向けた整理について 資料 5 (仮称) 大道筋まちづくり広場の開催結果について

議 事 の 経 過	
発言者	発言内容
岩田会長	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 町家の保全・活用のあり方について</p> <p>では、今から議事の進行をさせていただきたいと思います。</p> <p>しばらく皆さん、ご無沙汰してしまったような気がしていますが、今年もよろしくお願ひいたします。</p> <p>では、議事が3件ということで、まずは、案件1、町家の保全・活用のあり方について審議を進めたいと思います。</p> <p>このたびは、中間報告で取りまとめた審議の方向性について具体的な意見をいただき、答申作成に向けた意見交換を実施したいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>つきましては、このたびの意見交換に当たり、中間報告でご指摘のありました窓口相談やマッチング、それから、規制等に関し事務局からの資料の説明をお願ひいたします。</p> <p>資料1、2、3ですね。お願ひします。</p> <p>資料1、資料2、資料3について事務局から説明</p>
岩田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今、中間報告でご指摘のありました相談窓口、それからマッチング組織、それからいろいろな規制等に関しての説明でしたが、ご意見等ございませんでしょうか。</p> <p>以前、間宮委員から「SAKAINOMA (サカイノマ)」についてご紹介いただいていると思うんですけども、何かそのあたりの内容と今回の報告について、コメントをいただけたらと思うんですけど、どうでしょう。</p>
間宮委員	<p>こういうことは、他の都市とか地域でも、ある程度進んでいると思うんですね。堺に関しては、そういうことをもう少しオープンに、前向きに取り組んでいく中で、多分、一般の方はそういう、なかなか町</p>

	<p>家を活用したりということが、なかなか自分たちではできないと思います。もしやられる方が、こういうふうにとつずつ消防とか建築とか回っていても、多分、なかなか前に進まないと思うんですね。ですから、そういう窓口はすごく必要ですし、それが行政主体でやっていくというのはすごくいいと思うんですけども、需要と供給になってくるんですけども、じゃあ自分でそこをこういうふうに変えて、自分で使っていくんだっいたらいいと思うんですけども、これを誰かに貸したり売ったりっていうふうになってくると、その相手も必要ですよ。それがマッチングになってくると思うんで。</p> <p>すごく難しいのは、ひとつずつ分けてできないわけですよ。何か、全部一緒にやらないといけないんですよ。それを、だから窓口で相談に行って、こういうことはできますよという指導はできるんですけども、その次にどうしたらいいかっていうところは、また違う問題が出てくるわけですよ。そこを、民間と行政とNPOなのか、何かそれぞれの立場がうまく一体になってやっておかないと、なかなか難しいですよ。窓口はつくるけども窓口に入ってからどうするのかというところも含めた組織づくりをしておかないと、相談に行っても相談に乗ってくれるけども、あとは知らなかったら何も多分進まないですもんね。</p> <p>それが、まず大きなところなんですけども、それと、やっぱりこういうものって、それをこういうふうに変えたら利益が上がるとか、はやるとか、人がいっぱい来るとかっていう、なかなか事例をどんどんつくっていかないと、なかなか動かないと思うんですよ。それかこれをやったら補助金がつくとか、修繕費がもらえるとか、何かそういう実質的なものもすごく必要だと思うんですね。そういうものがひとつできたら、どんどんどんどん進んでいくと思うんですけどね。</p> <p>だから、窓口をつくるというのは、ひとつのやっぱり重要なことなんですけども、もう少しその辺をどうやってやるのか。規制を変えたり、条例を変えたり、わかりやすくするというのはとてもいいことで、それはすぐできると思うんです。そのときに、後をどうするかですね。後をどうするかと、そこへどうやって来らすかという、何かそっちですよ。</p> <p>岩田会長</p> <p>個々に違うので、具体的に、じゃあこのケースはどうしたらいいかっていうことを、一緒になって真剣に取り組めるかどうかということですね。それを表現するのは確かに難しいかもしれないんですけども、</p>
--	--

川上委員	<p>他市の事例なんかを調べていただいたときに、その辺は何かうまくいっているとか、例はありましたでしょうか。</p> <p>この他市事例なんですけども、金沢がこれ圧倒的にパーセントが高いですね。180 あって 163。理由はここに書いてあるんですよ。これを読んでいるけれども、この理由で何で上がるんやろうかと。それやったら、これいいじゃないかと。あるいは、まちの人の盛り上がりが非常に高いのかと。それも考えられるし、その辺まで聞いているんでしょうかね。</p>
事務局 (企画総務課主査)	<p>そうですね。確かに金沢に関しては、かなり成約件数が高くなっております。その要因をお聞きすると、やはり、今、川上委員がおっしゃっていただいた部分として、ここをサポートとして建築士会がありますとか、宅地建物取引業協会がサポートメンバーみたいな形が入っております、ここの連携が進んでいる。あと、不動産業者さんに関しても、こういう町家に関しての理解が高いという部分もあります、そういったところで、かなり初期の段階から相談を丁寧しながら進んでいるということも、ひとつ要因かなというのはおっしゃってました。</p> <p>あと、もうひとつが言われていたのが、金沢が、特に新幹線が通って実際、東京から、そういう町家に住んでみたいとか、そういった人がかなり最近ふえてきていると。最近そういった部分での人気というのが高まってきている。</p> <p>だから、そういった面では使いたいという人がかなりふえてきているので、すぐ登録された部分に関しては成約まで結びつくケースが多いというようなお話がありました。</p>
岩田会長	<p>すごいパーセント高いですね。</p>
間宮委員	<p>金沢は安いんですよ。京都に比べたら、まだ安いんです。</p>
岩田会長	<p>そうですね。京都は高いかもわからないですね。</p>
間宮委員	<p>京都はないし、高い。金沢は、いっぱいあるし安いらしいです。</p>
岩田会長	<p>なるほど。</p>

間宮委員	堺も、もっと安いのがありますけどね。
岩田会長	他に、何かございませんでしょうか。どうぞ。
矢本委員	これ金沢、確認したいんですけど、これ過去の登録件数、現在の登録件数。
事務局 (企画総務課主査)	今までの総トータルの登録件数です。
矢本委員	<p>トータルに登録された件数が 180 の数の住居ですか。わかりました。まず、普通の人だったら、これ登録しないと思うんですね、全くメリットないんで。では、これを不動産会社に相談に行くのと、ここの相談窓口で相談に行くのの差異がまずない。行政がやっているということで一定の安心感は得られるかもしれませんが、それ以上はないわけですよ。こういうことって普通の不動産会社でも、まあ言えば当たり前にするんですし、プロ集団なので。結局、行政が受けても、このままそちらに、まちの組織って回すだけですよ。じゃあ、やはり登録件数がふえない。登録件数がふえないと、不動産業者もビジネスになりませんから、協力しにくいですよ。そこに協力していこうという意識にはならないですよ。その辺をうまくみ合わせていかないといけないと思う。</p> <p>ですから、先ほど間宮委員がおっしゃったみたいに、そういう何らかのメリットを今後、本気で空き家対策をしていくんだったら、本気で貸す人しかまず行かないですよ、相談なんていうのは。悩んでいる人なんか行かないですよ。別に放っていてもいいわと思う人は行かないですよ。だから、行けば、仮に例えば固定資産税が減免されるとか、一定の何らかのメリットを与えてあげないと、登録は伸びることがないと思うんですよ。</p> <p>登録がふえないと、不動産会社は基本的には乗っかってこない。つき合いとかで、それなりには、来るでしょうけども。そこに対して積極的に、じゃあ借り手を見つけていこうとかいう動きにはなっていないと思うんですね。そこを、まずクリアしないといけないんじゃないかなというのと、貸し家の所有者にも、もっともっと、こうやって貸していくことが活性化につながるんだよとか、まちづくりになるんだよ</p>

<p>岩田会長</p>	<p>と。これは実際、社会貢献の一環なんだよというところのPRもしていかないと、進まないんじゃないかなと私は思うんですけど、いかがでしょうか。</p> <p>今のおっしゃった社会貢献っていう話なんかは、ずっと以前にそんな話も出ていたような感じですが。要は、所有者がどういうふうなモチベーションがあるかとか、心意気があるかって、その辺を引き出してあげるような策が今ちょっと不足しているんじゃないかと。そういう感じですかね。</p> <p>他に何かございますか。今のことで構わないんですけど、いかがでしょうか。どうぞ。</p>
<p>谷本委員</p>	<p>やっぱり間宮委員もおっしゃっていたし、それから、矢本さんもおっしゃっていましたが、やっぱりそういう社会貢献している意識というのは、何かで高めることって物すごく必要だと思っていて。私の場合は、そういう幸運に恵まれましたからできましたけども、やはり、やっぱりそこが欠如していると難しいと。そこでモチベーション高める方法は、行政として何かあるのかとかいうのを、やっぱりある程度ブレストして、課題なんかを洗い出していくという手法が物すごく大切じゃないかなとは思いますがね。</p> <p>どこの市町村も、やっぱりそこを物すごく苦しんでいますよね。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>持ち主からしたら別に放っておいても、そんなに困っていない例がほとんどですよ。どうしても貸したいとかっていう。私も空き家を持っているんですけど、両親亡くなって。放っておいたらいずれ、もしかして周囲に迷惑をかけるかもしれないから、何とかしなきゃいけないというぐらいの気持ちしかないかもわからないですね。それをもうちよっと高める手段、社会貢献をしているという意識を持てるような仕掛けが欲しいなということですね。</p>
<p>信田委員</p>	<p>確かに他市事例についてずっと書いていただいていますけど、これはノウハウ的なことばかりで、今、本当に社会貢献になるのかどうかという、目的とか、どういう成果があったとか、どういうふうにまちづくりに貢献したとか、そういうことが全然載っていません。社会貢献になると言われても、具体的にどうなるっていうのが全然出てきていない。</p>

	<p>私もここで話し合いをさせてもらっていても、本当に社会貢献になるのか。ひょっとしたら無駄遣いに終わらないかとか、その辺が心配なので。みんなで考えていかないと広がっていかないのではないかなと思いますけども。</p>
岩田会長	<p>そうですね。具体的には、先ほど、補助金であるとか修繕費とかの補助とか。それから、社会貢献というとなんでしょうね。</p>
信田委員	<p>そこで、それができたために人がたくさん入ってきたとか、どういう人が入ってきたとか、そういう具体的なことが出てこない、なかなか皆さん納得できないと思いますよね。</p>
岩田会長	<p>まちが住み心地よくなったとか、近所づき合いがよくなったとか、何かそういう。</p>
矢本委員	<p>基本的に、例えばわかりやすく言えば、僕ら商店街とかがそうですけど、シャッターとかがいっぱいあるところにわざわざ出店しようとは思わないですよ、人がもう少ないので。やっぱり住んでいるところも一緒だと思うんですよ。やっぱり空き家がいっぱい多いところに、自分わざわざ住みたいとは、なかなか思わないですよ、活気もなくなってくるし。だから、そういう意味では、もう貸しに出すこと自体がひとつの、やっぱり社会貢献になると思うんですよね。</p> <p>そのために、それを推進するために、登録していること自体が、もう社会貢献やと思うんです、より間口を広げているという意味においては。不動産屋さんに行ったら、やはりビジネスにしかしてこないの、早く借り手を見つけるために、やれ家賃下げてくださいとか、成約するためにこういう条件にしてくださいとかいうことしかやってこないの。行政がかむことによって、もうちょっと違う、そこだけ、そのビジネスラインだけじゃないようなところまで掘り起こせば、意味はあるのかなと思うんですけどね。</p>
岩田会長	<p>他によろしいですか。</p>
事務局 (区長)	<p>そうですね。今、ご意見いただいて、先生方がおっしゃるとおりだと思うんですけども。</p> <p>ひとつは、何かインセンティブがないと、なかなか不動産屋に行く</p>

	<p>のと変わらないと。そのままでは何もないだろうということで、その辺のどういうインセンティブを与えるかというようなところ。我々行政のほうでも、これから議論していかなきゃならないところかと思えますけども、先生方のほうからちょっと、こういうことでやれば活性化するんじゃないかというようなご意見がいただければなというのがひとつです。</p> <p>それから、社会貢献ということですけども、どういうふうな施設であれば、どういうふうに活用されれば、世の中の役に立つのかという意味での社会貢献。我々の思いつきで言うたら、それが福祉的な出会いの場に活用されるであったり、まち歩きする人たちがちょっと休める場であったり、あるいはそこで必要な、何か地域に必要なお店であったり。こういう、今ちょっとぱっと思いつくところで。あるいは、アートの展示ができる場所で誰でもが入れる、休める場所であったり。いろいろな、そういうことが考えられると思うんですけども、そういったところで、もし先生方からご意見がいただければ非常にありがたいなと思います。</p> <p>だから、インセンティブについてどのようなことが、例えば皆さん側からどう考えられるかというご意見。もう一点は、こういうことをすれば世の中の人にインセンティブを与えても受け入れられるのではないかというような社会貢献のあり方、そういった点でご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いします。</p>
谷本委員	<p>さっき間宮委員からお話が出ていましたけど、金沢はちょっと物件が安くて成約が高いというのは、まさにおっしゃるとおりで、社会貢献というのが起業しやすい。物件が安くて起業しやすいところに成約している傾向が物すごく高いんですね。ただ、貸し手はやっぱ安くの貸すのは嫌ですよ。そこが、ですから本来は社会貢献に結びついていくことなんでしょうけど、その温度差ですよ。そこが、いつも自治体では、みんな困っているところみたいですね。</p>
岩田会長	<p>そこがまさに、本当におっしゃる社会貢献というところの部分での心意気ですね。安くても貸そうかなと。</p>
間宮委員	<p>仮に空き家が今あったとしたら、これをそのまま置いておくと固定資産税も払わないといけないし、近隣に迷惑をかけるとなれば何かの補修はしていけないといけないんで、お金がいるわけですよ。でも、</p>

	<p>これを何かに活用できないかとなったときに、誰かに相談しにいくと。では、その相談された相手はビジネスになるので、相談もお金がいるし、何かしてもお金がいるという。何か一步踏み込むのにもお金がいるわけですね。何もしなくてもお金があると。そこを、行政の中に空き家対策チームみたいなチームがあって、そこでそれをうまく指導できるところまでは無料で、何かやってあげるものがちゃんとできていけば気軽に行けますよね。まずは、それで税金は安くなりますよというみたいなどころから、こうやったらこういうふうなところに相談に行ってみるとか。何かもうちょっと、それが見える化していれば、何か意外と動くんじゃないかなと思うんですけどね。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>よそはいろんな活動をしていて、いいこともされているし。もう一步やっぱり、ちょっとこの資料だけでは見えてこない部分もあるんですけども。今、間宮委員がおっしゃったような、この図では相談に誰か紹介しますぐらいにしか見えてないかもしれない。そこですかね。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>そうですね。何か行政の中にすごい、そういうのが好きな人がおって、「これ、やりたい」みたいなチームが、「なら、おまえらやれよ。頑張れよ」みたいな感じで、わあっと盛り上げると、すぐできるのかもわからないけれども、とりあえずこういうふうに書いておいてというふうなのって、なかなか動かない。</p>
<p>矢本委員</p>	<p>普通に不動産取引って、基本的に相談レベルでは無料ですよ、全部、成功報酬なので。だから、ここの部分が無料というのは当たり前のお話なんですよ。ですから、先ほども言ったみたいに、それは固定資産税とかが減免できれば一番いいかなとは思うんですけどね。</p> <p>もうひとつに、ちょっとアイデアとして思ったのが、例えば空き家で困るところって、貸し出すときとかのごみの処分とかが結構困る。要らない物とかあるのを貸すとなると処分しないといけないので、そういったところを例えば、仮に最高10万までは補助します。幾らがいいのかはわかりませんが、ここに登録していて成約したときには、そこに対しての処分費のうち幾らかは負担しますようなものだったら、常時お金がかかるわけじゃないので、可能性としてはあるような気もしなくはないんですけど。</p>

間宮委員	<p>京都なんかでも、そういう空き家を掃除するボランティアがいますね。チームが。また、そういうのが好きな人もおるんですよ。何か人の家を掃除するの。そういう人のチームもおるんです。だから、空き家があいて、もう掃除してほしいと。特にお年寄りとか、1人とかだったらできないから、それをそこに言うと、そこが掃除するボランティアを集めて行くんですよ。もう全部ごみを出してくれて、きれいにしてくれるみたいな。そういうのも、京都は何人かいますね。</p>
谷本委員	<p>そういうところから情報を発信するんですよ。</p>
間宮委員	<p>だから、まずは、そういうのもあるかと。それを、やっぱり普通に頼むとお金がかかるけども、何かうまくやったらなど。</p>
事務局 (区長)	<p>ヒント、ありがたいですね。困りごとを解決するサービスのための、ちょっと補助的なことを何か考えられないかということですね。そのときに、それにやっていかどうかというのはまた別の話で、貢献の度合いに応じてとか、そういうようなことがいろいろあるんでしょうけども、その辺をちょっと、いろいろヒントをいただけたらなと思います。</p>
岩田会長	<p>窓口に入る前の窓口が必要ということですね。相談窓口に行く前の窓口。</p>
間宮委員	<p>そこへ、どうやって来らすかですよ。</p>
谷本委員	<p>結構、今、皆さんがやり出しているのが、例えば堺市に空き家を持っている人が堺市に住んでないんですよ。それを、今どういう状態かというのを報告する人がいるんですよ。そういう見回り隊みたいなんですか。東京とかにお住まいの方に、そういうのをサービスで、今こういう状態になっていますよと。草が生えていますよとか、そういうことをやっている自治体が、ぼちぼち出てきていますね。そこから自治体とのコミュニケーションが始まって、そういう窓口バンキングするというきっかけになるというのは、物すごく確率が高いって聞いています。</p>
岩田会長	<p>そうですね。そんなのは、いかがでしょうかね。</p>

<p>矢本委員</p>	<p>行政ならではというところと言ったら、例えば民間人でも空き家を見つけたときに、謄本を上げて所有者を洗うことができるんですよ。でも、その所有者って、登記時の所有者、住所、名前のままなので、相続されていたり引っ越していたときには、全く民間では追えないんですよ。でも行政であれば、そこは固定資産税の台帳などで追えると思うので、そういうところに対してのアプローチは行政ならではかと。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>他にいかがですか。じっくり考える時間をいただいたら、また他にもアイデアが出てくるかなとは思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>じゃあ、これはここで一旦終えたいと思いますが、よろしいですか。それでは、次は、答申に向けた考え方の整理ということですね。資料4について事務局からご説明いただくということでよろしいでしょうか。</p> <p>資料4について事務局から説明</p>
<p>岩田会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>この資料4の答申に向けた整理についてということなんですけども、全部ざっと目をもう一度、各自で通していただきまして、ご意見等をお伺いしたいと思うんですが、中間報告のときと違っていろいろ枠を入れて、図なんかも示していただいているし、これからも写真とかを追加していくような感じですよ。すごく読みやすくなるのかなと思っているんですが、町家等という言葉遣いをもう一度きちんと整理して、町家じゃなく町家等でよろしいかと思しますので、そういうふうに修正をさせていただきたいと思います。</p> <p>何かご意見ございますか。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>今、町家というものがすごく、ここではクローズアップされて進めていって、これはこれでいいと思うんですけども、やっぱり最初は、堺の歴史・文化資源を活用するということからスタートしていると思うんですよ。それもやっぱり、ここにはきちっと入れておかないといけないのかなと。入っているとは思いますが、何かそういうところで、堺における町家とはいうところが要ると思うんですね。</p>

	<p>ただ単に、町家だけでは多分、全国一緒ですし、その特徴になって来ないので。それに大道筋というものとひっつけるのがいいのか、もう少し堺にとっての町家という。例えば、お茶という堺のひとつのものがあって、町家ってあるから堺らしいと思うんですね。この町家を使って、例えばフランス料理をばんと来ても、それはそれでいいと思うんですけども、堺の特徴にならないので。何か堺には食べる物、特に乗り物、自転車とかチン電とか、買い物、包丁とか。何かそういう、いろんなものがありますよね。それと町家がどうやってひっついていくかということをしっかりやっておかないと、こういう町家を活用してやりましょうと言ったときに、どんどん違うものが挙がって全然、堺とかけ離れていく可能性もあると思うんです。</p> <p>それはそれでいいと思うんですけども、もう少し僕らが議論するときには、何かその町家が活性化して行って、堺らしくなっていくというところも、何かちょっとここに入れておかないと、ただ単に町家があいているから、どんどん使っていこうというんじゃなくて、それが結局、堺の特徴になっていくみたいなものが必要なかなと思うんですけどね。</p>
岩田会長	<p>私、ちょっと気になるのは、堺の建物様式と言うんですかね。それとか地場の何か、各土地、大工さんというのか。特徴的な建物様式がありますよね。その堺の様式を受け継いでいけるかどうかという、その辺の技術継承みたいなものができているのかな、できるのかなという。ちょっとその辺、いつもよその都市でも話題になったりするところではあるんですけども、もう遅いのかな。</p>
間宮委員	<p>建物の形状も何か物語がついていたら、僕はいいと思うんですよ。多分、それは川上さんの分野だと思うんですけども、要は焼け残ったという。何回も焼け残って、焼け残っているっていう物語をひっつけて行って、古いものがたまたま残っているのではなくて、何か焼け残ったみたいなのがあったり、何か物語があってもいいと思うんですけどね。</p>
岩田会長	<p>いろんな物語ですね。</p>
間宮委員	<p>そういうのはないんですか、なかなか町家には。</p>

岩田会長	川上委員、振られていますか、いかがですか。
川上委員	町家ですから、そういうのも探せばあるんでしょうね。
岩田会長	今のうちに何か、そういうのをひも解いて、川上さんのメッセージの中にも加えていただけると、おもしろいかもしれない。
間宮委員	多分、最初に何かそこが、ちょっとなかったら、ただ単に町家とはでは、こういう表現であれば。
岩田会長	そういった堺らしさとか、堺のいろんな特徴ということについては話をしてきたと思うんですけども、それが十分に中身に表現できているかどうかということですかね。ちょっとどの辺になりますか。
川上委員	5番あたりに入れていったらいいですよ。
岩田会長	5番あたりですかね。
川上委員	5番あたりにちょっと、本当に何文字かだけでも入れておけば。
事務局 (企画総務課主査)	去年から歴史文化という部分でやっていただいている中で、そういったような堺らしさというキーワードなんかも出てきているところもありますので、そういった部分では、やっぱりそういったところの、今まで2年間を通じてやってきているというところを前提として、ちょっと書かせていただくとか、それを整理していくというのもひとつあるのかなというふうに、今ちょっとお話を聞かせていただいて思ったんですが。
事務局 (副区長)	<p>今、間宮委員におっしゃっていただいた分は、去年どんなことをして、今、町家の話になっているかというのは、この初めのところに若干書かせていただいているという内容です。</p> <p>それと、あと現状、課題といった部分も、その戦災で焼け残ったとかいうような部分を書いているんですが、これをもっとドラマチック的な書きぶりになれば、もっといいのかなというふうなところかなというふうに思っているんですけどね。</p> <p>これから、また物語をつくっていくというのも、これ、ひとつ川上</p>

<p>間宮委員</p>	<p>理事長にお願いして、つくっていただくというのも、これもすごく素晴らしい話かなというふうに思いますね。</p> <p>例えば、昔は、まちにいっぱい自転車屋があったけども、最近、自転車屋ってすごく少なくなりましたよね。例えば、今、七道に1個、古い自転車屋さんがあるんですけども、そういう何か町家を使った自転車屋があったらすごく絵になるし、堺っぽくなると思うんですよ。</p> <p>そういうのは、もう何か、逆に強制的につくっていったほうがいいのではないかと思うんですけどね。</p>
<p>事務局 (区長)</p>	<p>今、おっしゃっていただいたように、我々もちょっと町家をどう活用するか、どう保存するかという話になりましたけども、やっぱり分脈というのは大事だと思いますね。だから、やっぱり堺といえば、伝統産業がありますので、谷本委員のところはお茶の関係でやっていただいていますし、刃物の関係でやっていただいているところもある。さらに、おっしゃっていただいたように、自転車という切り口も非常に大きいと思います。だから、自転車を町家で展示して、この堺をどう乗りこなすかというような、そういう普通の自転車屋さんじゃない、楽しめる、町を楽しむための自転車屋さんみたいなものも町家と一緒にやってやるということも、ひとつの活用の仕方かなと思います。</p> <p>そういう切り口は、探せば幾らでもあると思いますし、例えば昆布屋さんで昆布をただ単に商品として売るんじゃなしに、昆布をかいてる姿を見てもらいながら町家で体験して、そういうお話も聞かせてもらえるような場をつくるとか。ある意味で、町家をひとつの堺の伝統産業であったり、あるいは堺らしさのショーケースとして見ていただいて、ある意味、観光あるいは日々の散歩、あるいは町の誇り、そういったものにつながっていくような活用の仕方というのを、ちょっとまたいろいろとご提案いただけたらなと思います。</p>
<p>矢本委員</p>	<p>ちょっと、ひっかかるんですけどいいですか。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>どうぞ。</p>
<p>矢本委員</p>	<p>いやいや、否定するわけではないんですけどね。今回、これ区民評議会って開かれて、多分、各区の独自性というか、特徴的なところ。まあ言えば、堺区のアイデンティティーとかを求められたと思うんで</p>

<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>す。堺らしさという言葉が出ているので、それでいいのかなど。今、私たちがやっていることが、これが全ての堺らしさっていうふうなくくりをしていいのかなという疑問があるんですね。</p> <p>それと、最初に多分、恐らくこの諮問事項が入ったのが多分、堺区の特徴的なところとして、こういう歴史・文化というところが出てきたと思うので、その辺を堺らしさと堺区らしさを混同してしまって、これはいいんですかね。そこの線引きというか、しないでこのままいくというのは、それはひとつの方法だと思うんですけども。</p>
<p>矢本委員</p>	<p>ほぼほぼ集まっていますけどね、堺区に。</p>
<p>信田委員</p>	<p>いわゆる堺らしさと言われるところで、旧堺といたら旧の観光都市をやっぱりイメージする人が多いので、じゃあ、堺区に全部収まっているという見方で、これを堺区としての持ち上げで、それを堺らしさってうたって、もういってしまっているのか。</p>
<p>信田委員</p>	<p>今、区長がおっしゃったいろんな事業は、七道から錦のあたりの古くからの企業として、堺区にずうっとあるものですから、それでもいいと思いますけれども。</p>
<p>矢本委員</p>	<p>いや、そうではなくて。他の区と対比したときに、じゃあ、堺区でやっていることが堺らしさというふうな打ち出しを、果たしてしてしまったときに、じゃあ、他の区は堺じゃないのかっていうふうな認識に捉えかねないような表現にはならないかなという、ちょっとひっかかりが僕の中にはあったので。</p>
<p>事務局 (区長)</p>	<p>堺区だけが堺やみたいな話になってしまうと、ちょっと。</p> <p>それは、もうおっしゃるとおりですね。我々もそこはちょっと気にして、配慮はしてまいります。</p>
<p>信田委員</p>	<p>他の区でもそれぞれ、いろいろ歴史的なものを持っていらっしやいますよね。それも堺でもあるしということで、そういう捉え方でもいいのではないかと私は思いますけれども。</p> <p>その辺は、それこそ川上さん、どうですかね。</p>

川上委員	<p>いや、それは、堺らしさって堺区でしょう。他は別ですよ。歴史ということ言うんだったら。外は全部田舎じゃないですか。でも、環濠内というところまで言っているのかどうかね。こういう文章で残すときはね。</p> <p>でも、町家等って、この等が、すごい意味はよくなりましたね。町家だけだとね、だめなんですけど。</p>
間宮委員	<p>何か堺の町家の特徴か、物語をつくっておかないと、だめですよ。そうしないと、もともと堺が町家として名があるわけではなくて、今、無理やりやっているんで、無理やりするには何か物語がなかったら、だめですよ。</p>
岩田会長	<p>物語があるはずなので、それを掘り起こすってということですかね。</p>
谷本委員	<p>そもそも、その町家は多分、堺の商人のものやから、それが文化ですよ。それをやっぱりシンボリックに、いかにするかというところが大事じゃないかなと思いますけど。</p>
岩田会長	<p>特に、堺区ですね、そこはね。堺区らしさになりますね。</p> <p>川上委員かた資料をいただいているんですけど、これは、ここの部分に関係あるお写真をいただいているのでしょうか。</p>
川上委員	<p>そうですね。ちょっと、この案内をしましょうか。</p> <p>これ実は、きのうまで3日間、大分市の観光協会にちょっと招聘されてまして、向こうとの交流をやってきました。きのうですけども、それだけではということで、これ、臼杵に行ってきたんですよ。臼杵というのは石仏のあるところですよ。石仏だけあって、もうえらい田舎やなど、まちはどうやねんということで、まちへ行ったらこんな状態になっておったんです。</p> <p>一番上、これは商店街なんですね。江戸時代の建物もあるし、新しいものもあります。59軒店があって、シャッターが閉まっているのは1軒だけ。すごい確率です。</p> <p>左下は、これ、バイキングの魚のレストラン。関アジ、関サバの産地なんで、そういうレストラン。その下は、催し広場ですね。</p> <p>その右、これは寺が全部こういう形になっていまして、左側が住宅だということなんです。左下のほうは裏道です。車はちょっと通れな</p>

	<p>いような道ですが、これも全部、このようにでき上ってしまっているんですよ。右下、これ、スーパーの外観なんです。</p> <p>ということは、みんなこれ、市民を上げてこんなまちをつくっていると。例えば、図書館なんてものがあつたんですが、写真はちょっと撮ってこなかったんだけど。これは、江戸時代の建物が子ども図書館に変わっていますね。その中のいろんな部屋で、子どもたちの催しができるような状況もつくっていました。</p> <p>歩道については、自転車と歩行者をと分けて、もう色でびしっと分けて、自転車は必ずこっちというふうにやっていましたね。</p> <p>それこそ、これは町家じゃなくて、新しい平成の家もたくさんありますんでね。でも、全体としては非常に歴史を感じるまちづくりになっていました。これは1本の筋じゃないんですよ。もう面です。どっちに曲がろうが、どっちに向いて写真を撮ろうが、こんな写真が撮れます。</p> <p>参考までに、今からじゃ遅いかもしれんけども、たまたま、こういうのを参考資料につけました。</p>
岩田会長	ありがとうございます。
桂委員	これはどれくらいの広さですか。堺東から堺駅くらい。
川上委員	そんなにないです。半分くらい。
岩田会長	<p>ここまで行く過程にどんなことがあつたのか、知りたいですね。こういうふうになれば、人もどんどん、観光客も来てくれるのかもしれないんですけども、観光客だけをターゲットにしないということは最初に話してしまして、住んでよいまちっていうふうな形で、いいまちであればいいなということ。</p>
桂委員	この店屋さんは、お土産屋じゃなしに、生活の店ですか。
川上委員	みそ屋さんとか、普通の商店ですね。土産物屋って、そういえば、この辺にないですね。
岩田会長	そうですか。

桂委員	これ、食べようと思ったら観光の人も食べられる。
岩田会長	広いですね、この道路ね。
川上委員	広いですよ。割と広いですね。広いところと、非常に狭いところと。でも、狭いところもちゃんと、この左下の写真のようにしてあるんですよ。
谷本委員	近いところで、伊賀上野もこういうふうになっていますね。
川上委員	なるほどね。ここは、お寺をうまいこと巻き込んでいますよね。お寺まで、まちなみに貢献しておるか何かやね。
桂委員	壁を塗ったのも、まだ新しいですね。平成に入ってからですね、これだったら。
川上委員	うん、白かったですね。そうです。
岩田会長	こういった提案は、いろいろできるかと思うんですけど、一足飛びになかなかいかなくて、民活で徐々にやっていかないといけないかなと思って。そのやっていく過程に、また何かいろんな人のつながりが出てくるんでしょうから、それは堺らしくやっていけばいいのかなと思いますけど。
桂委員	<p>この大道筋とか大小路通りなんかでも、広い道に面しているところは以前、今もそうかもしれないですけど、容積率のアップをやったから、やはり高い建物を建てたいというのがありましたよね。それなら、容積率をなるべく上げてほしいという要望が強くなって、そうしたら地価も上がりますからね。所有者にとっては、容積率のアップが自分のところの資産のあれになるということで、そうして上がったら、それに対して古い建物を潰して。</p> <p>そやから、通りのほうはほとんどなくなりましたよ。残っているところはまれです。他のところなんかは、もうみんな、いっぱいまで建てたりしましたから、裏に入っても容積率を、一時そういうのを皆、目を向いて、なるべく大きくやってテナントをやったりしましたから、そのときにざっと一遍に古い建物も減りましたよね。</p>

岩田会長	あと、佐野委員はいかがですか。
佐野委員	そうですね。すごく大分市と、民間と行政がすごく協力して、ここが臼杵の商店街をやっているなどは思うんですけど、堺でこれを求めるのもどうかなと思うので。でも、こういう一体となって何かをやっていく気持ちもやっぱり必要だと思うので、堺でもそれをどう持っていくかということも重要だとは思っています。
岩田会長	資料4の文章そのものについて、例えば何か、ここはこういうふうに加えていただきたいとか、いかがでしょうか。 先ほど出ました最初のところのあたりに、これまでの経緯とかを少し書き加えるというふうなこともあったかなと思います。最初の部分なのか、(方向性の)5番のあたりがよいというふうなお話もありましたけど。
矢本委員	この最後の部分なんですけど、こうやって2年間、このメンバーで話してきたんですけど、その辺のちょっと堺区としての総括的なところというのが欠けているかなという思いはあるんですけど、何かここでしっかりとした総括的なところを出して、また次、恐らく春からは別の委員になって、この堺区民評議会って継続していくと思うので、何かそこにつなげられるもの、引き継げるものというものはないのか、何かそういう思いも託せればなというところはあるんですけど。またじゃあ、これ終わってゼロ、リセットして、また何か諮問事項があつてなるとはならないかなという心配があるんですけど。
岩田会長	総括的というと、例えば、どういうことを入れればいいと、思っていますか。
間宮委員	この最後に、おわりにというところに書かれている内容ですよ。実現可能なものについては、施策化に向けて検討を進めていただきたいという、ちょっと何かよくわからない。こういうふうな終わり方が、非常によくわからない終わり方。おわりにと書いてあるのが、お疲れさまでしたみたいな。 本当にでも、これはまとまっていますけども、じゃあこれが、これで次に何ができるかというのは全く、多分なかなか難しい。

<p>事務局 (副区長)</p>	<p>こちらのほうにつきまして、先ほど来ご意見をいただいている分を、もうちょっとつけ加えさせていただいて、もう一度ご提案のほうをさせていただきたいかなというふうに思っております。</p> <p>お忙しい中申しわけないんですが、事務局のほうでも修正のほうをさせていただいて、ご提案させていただきまして、またそこで再度、追加というふうな形でお願いできればありがたいかなと。</p> <p>矢本委員におっしゃっていただいているみたいに、おわりのところで、2年間いろんなご議論をいただいております。ここで実際、今、大道筋の広場とか、いろんな取り組みも徐々に生まれつつありますので、そういった内容もちょっと実績として上げていくとか、そういった部分もありかなというふうに思いますので、そこも含めて修正させてもらった分をちょっと送らせていただくということで。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>じゃあ、いろいろ話は出ていましたし、修正案をメールなどで送っていただいて、それをまた次回にということでしょうか。そういう意味ですね。</p>
<p>事務局 (企画総務課主査)</p>	<p>今日いただいた意見を盛り込んだ分を、会長とご相談の上つくらせていただいて、各委員にはお送りさせていただいて、ご確認いただきながら最終の答申案という形をつくっていただければと思っておりますので、またご協力のほど、よろしくお願いたします。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>わかりました。じゃあ、済みません。お手間ですが、よろしくお願いたします。</p>
<p>川上委員</p>	<p>町家の集合体が、まちなみになるということですよ。ぽつんぽつんやっていっても大したことない。</p> <p>3つあったでしょう。町家とまちなみと市民の盛り上がりと、3つでずうっとやっておったよね。これだと町家に対することだけに、今、残ってきているから。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>ああ、そうか。そうですね。</p>
<p>信田委員</p>	<p>今後の方向性の重大项目が町家で、最初の1、2が町家のマッチングとか規制緩和ということで、そういう最初の目的というか、そういう</p>

<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>のにあまり即していないのと違うかなと思います。歴史的・文化的資源をどう残すかというのが、空き家をどう活用するかと混同して捉えられ過ぎないかなと思ったりもしますけれども。</p> <p>2年間の総括的な答申というような。</p>
<p>川上委員</p>	<p>町家の定義をと載せてしまっているから、これ以外は全部町家じゃないという捉え方ですからね。そうじゃなかったと思うんですけど。でも、こういう方向でいってしまったんで、それでもう、あれですけども。私の思いは、そうじゃなかったんですけどね。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>ちょっと最後に、ものになってしまったのが、どうかなという気はします。もう町家っていうものになってしまっている。結果が出るじゃないですか。これ多分、これやって1年、2年たっても1軒も何も活性化されなかったら、結果が失敗になってしまうけども、この町家に対して議論したことによっていろんな、他にも波及して、多分よくなっている部分はあると思うんです。それがあんまり見えてこなくて、結果だけに見えてくるので。</p> <p>最後は、ものよりもやっぱり人とか、地域とかに振って終わっておかないと、終わり方がちょっと町家だけに終わってしまうと、多分、そんなに結果は出ないと思うんですよ。これをやったからといって。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>1年目は総括的に、2年目はちょっと深掘りをしていただいて、最終答申は全体として答申を出すという形で、ちょっと書き込みをもうちょっとさせてもらいます。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>もう窓口みたいな、きょうの最初に言ったことが、この評議会の中で生まれて実現できるっていうのであれば、これは正解だと思うんですけど。町家の活用を進めるだけでは、多分、成果にはならないよね。何か、ひとつ成果が要りますよね。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>これ、タイトルは括弧書きで、町家の保全・活用のあり方についてになっているじゃないですか。だから、その辺に、むしろこだわってしまったのかなという。こだわり過ぎてしまったのかもしれないんですが、今年度の答申としてはそういう方向かもしれないんですが、そ</p>

<p>桂委員</p>	<p>ういうふうにしちゃうと、もっと大事なことが何か消えていってしまったのかなという感じですね。</p> <p>要はこの、最近は意識が高まっていますよね。潰して新しい建てる場所でも、今までだったら、もう全くばたばたとしてプレハブ置くんですけど、今は一応、基礎を残して、ちょうど裏側の筋なんかでも半分ぐらい、大体そういうイメージを持ってやってくれていますよね。やっぱり全体的に取り組んでいるなっていうあれがわかれば、皆さんの意識もちょっとずつ変わっていていることは、現状では変わっていていますからね。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>そうですね。そうやって、頑張ってくださいっている方たちがあるからね。</p>
<p>桂委員</p>	<p>うちの辺のところは、古いのに住んではって、潰したら今度、建てられないんです。道が細い、あるし、そのままの姿で建てられない、道に提供せないかんので、もうそのまま潰さなくて古いまま置いてあったり、潰してもうそのまま建てずになっているところがありますよね。建てようと思ったら、ほんまにもうすごく、3分の2か6割ぐらいしか建てられないんで。そういうところが、割と古い道に面しているところほど、それがありませんですね。</p> <p>そやから、そこら辺のジレンマもあって、もう古いままで触らずにやっていると、それをちょっと補修しながらやっていってくれるところとありますけども、もうひとり暮らしやから、それがもう、その方がおられなくなったら、もう古いままで。後の人が手もつけられない状態で、そのままになっていますよね。何軒かそういうのが続いたら、まとめてぱっと処分して、3軒分を不動産屋が買い取って何かやって、ちょっと今度、全然それとは関係なしに、今度は収益性のほうになっていきますからね。</p> <p>どうしても防火って、あれとかで決まっていますしね。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>条例をどういうふうに整備していくかというのもあるかもわからないですね。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>ハニワ課長っているじゃないですか。ああいうので、町家課長みたいなのはいないですか。ここをすごく好きな人がおればいいんですが。</p>

谷本委員	<p>今おっしゃったように、行政自体がそういうことに一生懸命取り組んでいますよという姿勢を示すことが重要だと思いますね。それが市民の、やっぱり情勢になっていくと思うんですね。その人らが率先しないと、やっぱり、みんな何も思わないですよ。</p>
桂委員	<p>こういうのができましたという広報、あれにも写真とかを載せてもらったら、わあ、すごいな、こんなんいうて、見に行こうかと思って普通の1軒の、普通の民家っていうか、最近建てかえたところでも、そういうふうなイメージでやっているところをたまに景観賞でも、今でもやっていますよね。あんなん、どんどん載せていってもらったら。</p>
谷本委員	<p>そういうのをどんどん、この前も僕言ったと思いますけど。やっぱり情報を発信してあげて、表彰でもいいからしてあげることが、そういう意識の向上につながっていくっていう、そういう仕組みが今ないですよ。</p>
桂委員	<p>そやから、花と緑とやっているみたいに、あれのこういう新しく。</p>
事務局 (区長)	<p>そうですね。僕も今、そう思ったんですよ。花と緑やったら、町の中をずっと探して。</p>
桂委員	<p>ずっと歩いてもらって、学生さんに歩いて、いいないうのをピックアップして検証していますよね。ああいうふうな感じで。 せめて、そんなんをひとつでも残していただいたら、形として。</p>
事務局 (区長)	<p>そういうのを町の中を歩いて、ここがいいシーンやということで。</p>
桂委員	<p>建築の学生さんとかにやってもらって、好きな方だったら、もう本当にマニアックな人がおって、これは今現在の建て方やけども、あれが残っているなという。 京都でスライドか何かを見せてもらったときに、多分、町家の2階の棟の高さが違うとか、聞いていたからあれやったんですけど、ありましたよね。そんなん、これは堺方式の町家ですいうふうに、僕らが見てもわかれへんけども、そんなんを専門というか、やっている人</p>

事務局 (区長)	<p>がいてるん違うかな、学生さんで好きな人。学生さんに限らず、普通の方でも興味のある人がたくさんいてると思いますけどね。</p> <p>そうですね。いろいろいい意見をいただいて、ひとつひとつが非常におもしろいというか、やってみたいなというふうに思いました。</p>
岩田会長	<p>書類をつくることに終始していたら、だめみたい。動きましょうか。では、よろしいですか。そういうことで、事務局からまた送っていただいて、それで目を通していきたいと思いますので、よろしくお願ひします。</p>
岩田会長	<p>(2) (仮称) 大道筋まちづくり広場の開催報告について</p> <p>では、引き続きまして、議事2ですね。(仮称) 大道筋まちづくり広場の開催報告についてということで、資料5になると思いますが、事務局のほうからご説明をお願いします。</p> <p>資料5について事務局から説明</p>
岩田会長	<p>ありがとうございます。いかがでしょうか。何かご質問とか、ございますか。</p>
佐野委員	<p>私、大道筋まちづくり広場の1回目と2回目、両方参加させていただいて、一応どんな感じかというのを見させていただきました。1回目の、このまちづくり広場ニュースの下のところにある検討テーマですね。これ、評議会でも出ているテーマが、あったと思うんです。これに対して4人ないし6人ぐらいの1テーブルで、このテーマについて何が重要ですかということを1回目は話し合いをさせていただいて、それをまとめたのが、このテーマの表になっているんです。</p> <p>この表を踏まえて2回目の開催報告で、またこちらも4名から6名ぐらいのテーブルが4つありまして、そこで自分たちが最優先で取り組みたいことっていうのを、テーマを決めまして、そこから、じゃあそのテーマについて何が重要かということ、みんな各テーブルで意見を交換し合う。それが出した後に、実現するに当たっての課題と課題に対しての乗り越え方という、解決方法というのを話し合っって一番最後に、4グループあったんですけども、各グループが、ホワイト</p>

	<p>ボードにその紙を張り出して意見交換をするということを見せてもらいました。</p> <p>それで、大道筋というよりも、堺市に来てもらったときに大道筋で見るものとか体験するものというのものもあるんじゃないかということとかがあったりとか、おしゃれな自転車で町をめぐる外国人向けのツアーあったらいいのではないかと、あと空き家とか空き店舗を使っでの生涯学習の場所の創立とか、婚活の場をつくったりするのもどうかということとか。あと、そういうのもあったんですけども、根本的にはやっぱり清掃活動とか、そういうのも重要なのではないかと、情報発信していくのもいいのではないかと意見も各グループから出ていました。</p> <p>また、こういうことをするのは、森のキッチンをこの会議室で行っていたんですけども、この市役所の地下1階の。でも、そこではなくて、SAKAINOMAで行ってみてもいいんじゃないかという意見とかも出されてました。</p> <p>まだ2回目なので、具体的にどうしたらいいかという、動き出すという具体案というのは、ほとんど固まっていなかったんで、これからそういうのが3回、4回と進むうちにいくのかなとは思っています。</p> <p>ただ1点だけ、私、疑問に思ったんですけども、これ全くまちづくり広場と関係ないと思うんですが、大道筋の阪堺線沿いに花壇を試験的に設置しますという話を2回目の最後にされたんですけども、お花植えてしますよって言って表示されたのが、すごいばらばらやったので、場所が。それが駅の1区間とか2区間まとめて、どんってきれいに配置できなかったのかなっていうことは、すごく残念には思いました。</p>
岩田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>実際に参加されたということで、いろいろ具体的なご意見とか感想を聞かせていただいて、ありがとうございます。</p>
矢本委員	<p>私も2回目に参加させてもらったんですけど、ちょっと率直な感想なんですけど、何かとても事業をすることを焦っているのかなという、結果出しに走っているのかなっていうのが感じられたんですね。</p> <p>では、そもそもこういった、何をするか難しいんですけど、連携・協力するプラットフォーム、場や仕組みが必要ですよっていうふうな中でスタートしていて、じゃあ、そういうふうな事業化することを、</p>

間宮委員	<p>果たしてここに集まってきた人たちは、それを目的として集まってきているのかなど。ふらっとちょっと、何となくその場、大道筋を何かよくしたいなという気持ちだけで来ている人にしては、かなり負担だったんじゃないかなという思いはしましたね。</p> <p>今後も、これ回を重ねていく中で、恐らく1回目と2回目と、またメンバーが結構変わっていると思うんです。じゃあ、今度また3回目をやったときにメンバーは変わっていくと思うんです。その中で、今の仕組みの中で事業をつくり上げていったときに、多分、何かそのときそのとき課題を与えられて、みんな一生懸命考えて事業はつくっていくんでしょけど、それって、つくっただけで終わるような気がして。そこでつくることが目的になってしまっているんで、多分、そこにいる人たちは本当にそれがやりたくて、事業をやりたくて、そういうことをやりたくてっていう人が集まっているんだったら何ら問題はないと思うんですけど、ふわっと、やっぱりこの町をよくしたい、この大道筋周辺ってどうなっているんだろうとか、何をやっているんだろうとか、何ができるんだろうと考えた人にとっては、そのギャップをね。</p> <p>僕もわからないです。答えはないんですけども、そのあたりをちょっと考えた中でつくっていかないと、今後、継続は難しいんじゃないかなという思いは、すごくしましたね。</p> <p>ものがでかいですからね。御堂筋は御堂筋ネットワークっていう組織があって、御堂筋に立地している企業が中心となってやっているんですよ。トップは竹中工務店なんですけどね。そうすると、その会社の中で御堂筋ネットワークに参加する一員がおるんで、今、矢本さんが言ったように、そのままずっと続いていくわけですよ。だから、それを社内でも調整できるし、もちろん企業なんで、それなりに予算とかお金も出るだろうし、続けていく仕組みがもう初めからできているんで、実際にああいいうイルミネーションをやったり、クラシック音楽をやったりと、いろんなことをやっているんですね。</p> <p>それはやっぱりベースの力があるから、どんでんできると思うんですけども、僕はこれ、参加してわからないんですけども、多分、結構大変そうな感じで、結局しんどなってやめるみたいなのにならないようになったらいいですけどね。ものがでかいよね、大道筋っていう。掃除するだけでも大変ですね。</p>
------	--

<p>事務局 (区長)</p>	<p>ありがたい上に、皆さん、いい意見をいただいたと思います。我々も本当に手探りでやっています、本当に大道筋を何とかしたいと思う人があり、ちょっとまちづくりに関心がある人があり、ある程度幅広い、そういう人たちが集まってきてくれて、その中で緩やかなつながりの中から、それぞれの楽しみを原動力にそれぞれの目的でやってもらおうというところなんです。</p> <p>だから、その中でまた、先ほど企業のお名前も出ていましたけども、そういった我々のほうも企業に声をかけてということもちょっと念頭にはあるんですけども、そういったところは、まだこれからのところで、まずは皆さんにこうやっていますいろいろやってみて、その中で矢本さんがおっしゃっていただいたように、我々は何か事業化になればええなという思いも確かにありました。しかし、それだったら長続きしないよというご意見もいただいたんで、そこらも踏まえて、ちょっとあり方をいろいろとちょっともんでいかないと思います。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>振り過ぎですよ。別に事業化するのがだめというわけじゃないんですけど、じゃあここで何をしたいかという、まずコンセプトが見えないんですよ。何がしたいかがぼんやりとしているので、参加した人間も何を求めて、求めていくものがさまざまなので。</p> <p>事業するのが悪いとも言わないです。何か、僕らもいろんなまちづくりのこんな会に出ていて、話ばかり毎回するけども何ひとつ進まないというのもあったら、事業するために進めるのを目的としてやっているのも、どっちもあるんで、どっちもよき悪さがあるので。</p> <p>ただ、参加したときに結構、大道筋と関係ない人もいっぱいいますよね、正直。そういう人っていうのは、つながりだったりとか、このプラットフォームという機能を求めて、そこのこのキーワードにひっかかって来ているんじゃないかなっていう感じがしたんですね。その中でそういう人たちがつくって、じゃあ事業していったときに、果たして自分が住んでいない離れたところに対して思いがあって、そこに参画は恐らくしないんじゃないかなという思いはしたんですけどね。</p> <p>ファシリテーションがうまいので、形はつくってくれてはいますけれども。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>絞っていくと、興味がないと来ないので、できるだけ絞らずに、ここを報告の場という形で、例えばSNS上でグループをつくっていた</p>

<p>事務局 (区長)</p>	<p>だいて、常にやりとり、アイデアがあれば集まっていただく。で、うちのホームページでそれを掲載していくとか。そういうバーチャルな部分もうまく活用して、この広場というのを続けていきたいなど。</p> <p>できるだけ落としていって絞り込んでいく案ではなしに、どんどんアイデアがつながっていくようなものにしたいと思っています。</p> <p>そうですね。だから、場はプラットフォームということで、緩やかなつながりでいいのではないかなと思っているんです。その中で、お互いのつながりの中から共通の目的が見つかれば、そのときに、またその人たちが、先ほど課長から申し上げたようにSNS、あるいは、またフェイス・トゥ・フェイスのつながりを新たにこしらえて、そういうコミュニティがまた生まれていっても、それはそれでいいんじゃないかなというふうに思っています。</p> <p>ちょっと今のところは、手探りでやらせてもらっています。</p>
<p>矢本委員</p>	<p>どうしても事業するのであれば、やっぱり定められた、この日、この時間に、この場所に行かないとかかわれないので、じゃあ、ここで事業をつくっていたときには、ちょっとこの日だめだといったときに、もう外れてしまうわけですね。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>人づくりの第一歩ということなのかもしれませんけれども。他にございませんでしょうか。よろしいですか。</p> <p>では、この議事2は、これで終わらせていただきます。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>(3) その他</p> <p>議事3、その他ですが、事務局からお願いします。</p>
<p>事務局 (企画総務課主査)</p>	<p>その他として、最後に今後のスケジュールについてご説明させていただきます。</p> <p>まず、今後、先ほど申し上げましたように、本日いただきましたご意見について、会長とご相談させていただきながら、答申案のほうを詰めていければと思っております。ですので、またそちらのほうを整理でき次第、皆様のほうに一度ご意見のほうをお伺いできればと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>

	<p>その意見も踏まえまして修正した答申案をご議論いただくという部分で、次回会議ですが、先日、事前調整させていただいた結果、全員が出席できるという日が3月1日の水曜日、午後6時からということでお聞きしております。こちらのほうで開催させていただければと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>そうしましたら、3月1日の水曜日、午後6時から、こちら市役所の本館3階の大会議室1で開催させていただいて。議題としましては、先ほど申しましたように、答申案につきましてご議論いただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>事務局からの説明は以上でございます。</p>
岩田会長	<p>ありがとうございます。何かご質問ございますか。よろしいですか。</p>
	<p>3 閉会</p> <p>それでは、以上をもちまして、第6回堺市堺区区民評議会を終了いたします。長い時間ありがとうございました。</p>
岩田会長	